

上下水道施設の耐震化状況の緊急点検について

1 背景・目的

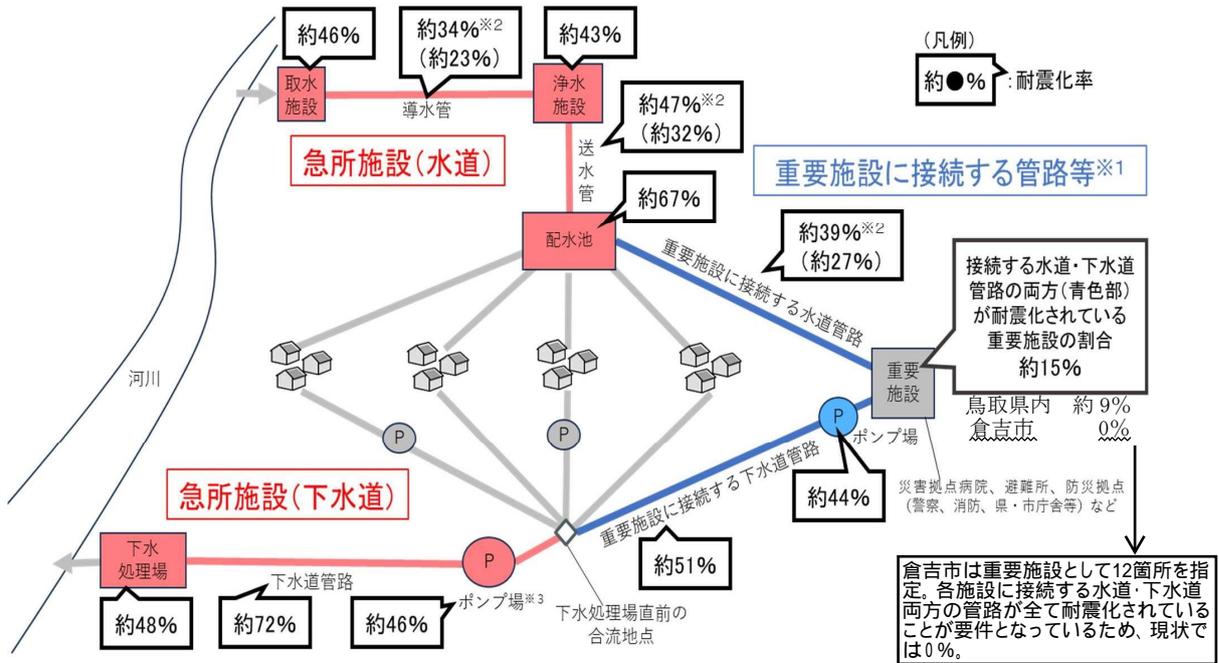
令和6年能登半島地震では、上下水道システムの「急所施設」(その施設が機能を失えばシステム全体が機能を失う最重要施設)や避難所などの重要施設に接続する水道・下水道の管路等について、耐震化の重要性が改めて明らかになった。このため、国はこれらの施設の耐震化状況について緊急点検を行った。

2 緊急点検結果の概要(令和5年度末時点での全国の耐震化率)

- ① 上下水道システムの急所施設 赤色部
- ② 避難所などの重要施設に接続する水道・下水道の管路等 青色部

【全国の耐震化率】

出典 上下水道施設の耐震化状況に関する緊急点検結果 国土交通省令和6年11月



※1 今回の緊急点検では、給水区域内かつ下水道処理区域内の重要施設に接続する管路等を対象とする。

※2 導水管、送水管、重要施設に接続する水道管路の耐震化率は、耐震管以外に地盤性状によって耐震適合性を有する管を含めた割合を示す。なお、()内に耐震率を示す。

※3 下水処理場直前の合流地点にポンプ場がある場合は急所施設とする。

3 今後の取組

今般の緊急点検結果を踏まえた「上下水道耐震化計画」の策定。
新たに創設される国の補助金を利用する為、補助の要件に注視していく。